

2019年 学習計画書 < 下準備 >

(「2019年学習計画書について」の告知に沿って、
提出するつもりで作成したもの。

挿入した告知のページ等は、作成時に参考にしたもので、
参考にした順に挿入した。)

2018年 12月1日(土) 提出

英語道弟子課程弟子、H.K、

「2019年・学習計画書」について

投稿日：2018年11月21日

→ この土台作り、土台固めが、まず、基盤として必要。それができてから、先がある。

英語道弟子課程では、既に、「2019年の稽古計画」について立案・検討を始めています。師が考える基本方針は、一にも二にも、「弟子たちの心、及び、精神ステージを向上させる」ということに尽きます。既に、弟子たちは経験済みですが、師の指導通り、「固定観念から自分を解放し、清らかな心の下で師の精神性の中で生き続け、勉強し続けていく」と、いつの間にか、相当なる知識・教養が身に付いているという、「一つの奇跡」(a miracle)が起こります。

これとは反対に、一般社会では、「貪欲極まりない、世俗的な知識欲」を満たす目的で勉強する人が多いでしょう。師は、はっきりと明言しますが、「貪欲極まりない、世俗的な知識欲」を追求するべく勉強し続けると、残念ですが、学習者の意図とは逆に、「知識」すら身に付くことはありません。

本稿に於いて、師は、「世界の教養人が捉える一つの知恵」を紹介します。

"Greedy greed for knowledge is ugly."

貪欲ばった知識欲は醜い。

"Greedy greed for knowledge doesn't engender anything beautiful."

貪欲ばった知識欲は 何一つ美しいものを生み出すとは無い。これがそのまま、「すべきこと」！

生井利幸の弟子の場合、学術として「組織的・系統的に知識・教養を身に付ける」には、師の指導通りに勉強を進めていくことが最も堅実な勉強方法です。

→ 12/1(土)に提出。

弟子たちは、2018年12月の第1回目の英語稽古にて、「2019年・学習計画書」を提出してください。提出後、師がその場で確認。見直し・修正等が必要な場合は、もう1週間かけて再作成し、12月の第2週目の英語稽古にて提出してください。

→ 受講生とモツリ-の飾り付けを準備される

師は、既に、クリスマスの準備をスタートしています。英語道弟子課程では、11月の第4週目に、ジョヴァンニ・ピエルルイーダ・パレストリーナ(1525-1594)：Magnificat Primi Toniの音楽鑑賞。12月に入っても、さらに、特別イベントが続きます。弟子たちは、2018年も、「濃厚なる年末」を過ごし、2019年は、さらに、「実り豊かな美しい一年」としてください。

→ 気を抜かない機会を

師は、常に、「最高の学びの機会」を賦与し続けます。弟子たちは、できる限り自分の心を整え、「師が賦与する学びの機会」を、自分の血・肉・骨の中に入れていってください。

貰える！

→ 11月半ばから 約14日の間

どのようにして、クリスマス という日と向き合うのか、考えるのか、という機会を 賦与してくださっている。

→ 世界中のどこに行っても、

受けることが決まっている。機会。

そのすべては、

弟子本人の幸福のため。

Transubstantiationのため。

生井利幸先生の 神聖美を

直に 頂戴 するため。

↓
いすかない生に 賦与された一秒のため。

2018年11月21日

弟子専用ページ〈世界レベルの道〉

「2019年・学習計画書」について

英語道弟子課程では、既に、「2019年の稽古計画」について立案・検討を始めている。



弟子、として歩むべき道を
先生が立案・検討されている。
一利も無駄にできないから。

師の指導通り、「固定観念から自分を解放し、清らかな心の下で」
師の精神性の中で生き続け、勉強し続けていく」と...

いつの間にか、相当なる知識・教養が身に付いている

既に、弟子たちは
経験済み
!!

「一つの奇跡」(a miracle)
が起る。



これとは反対に... 一般社会では、

「食欲極まりない、世俗的な知識欲」を満たす目的で
勉強する人がいる。

先生は、はっきりと明言。

「食欲極まりない、世俗的な知識欲」を追求するべく勉強
し続けると、残念だが、学習者の意図とは逆に、
「知識」すら身に付くことはない。

安易な方法で身に付けようとしても、
踏むべきステップを踏まなければ
何にもならない。安易な近道は、結局、遠回りとなる。
「欲」を商売にするところで学べば、本当の事は無く、時間を無駄に
するだけ。神と学問の面前では謙虚でいなければならぬ。

生井利幸先生より、「世界の教養人が捉える一つの知恵」が紹介された。



実際には、プレゼント。

"Greedy greed for knowledge is ugly."

貪欲な知識欲は、醜い。

"Greed greed for knowledge doesn't engender anything beautiful."

貪欲な知識欲は、何一つ、美しいものを生まない。

★ 美しく生きなさい という教えでもある！
美しくなるには、貪欲さ、欲深さ、が不要。欲自体が不要だ、と。
人間は、美しく存在しなければならない。
もっと、自分を清めなさい、常に自分を清めなさい。
欲の無い姿が美しい。本当の自然な存在は、欲の無い、
とやっているように、見える。

弟子は、「2019年・学習計画書」を提出する。

① 2018年12月、第1回目の英語稽古にて、提出。

先生にその場において確認していただく。

見直し、修正等が必要な場合、もう1週間かけて再作成。

② 12月の第2回目の英語稽古にて、再作成版を提出。

先生は既に、クリスマスの準備をスタートされた。

(「生井利幸先生の血の中を流れるカラダッシュ作「エオの晩餐」の精神、特殊稽古が11/15に終了後、すぐ)

11月第4週目、ジョヴァンニ・ピエール・レイシダ・パレストリーナ(1525-1594)：

Magnificat Primi Toni の音楽鑑賞

12月 さらに、特別イベントが続く！

常に、最高峰の学びの機会を見出し続けてくださる。弟子は、できる限り、自分の心を
整え、「師が賦与する学びの機会」を、自分の血・肉・骨に入れていってください、とある。

〈一瞬も気を抜かず、最高の状態で臨むこと！〉

『普遍的な精神』を礎とした基盤学習

＜下書きを作成するにあたり、参考にした内容＞

弟子は、以下に掲げる学習内容について、ローカルな損得勘定・計算等を排除して「清らかな心」を基盤として勉強に勉強を重ねなければ、普遍的な立ち位置の下で、「本質」(the essence)、及び、「真理」(the truth)の探究の道を歩むことは不可能である。

生井利幸の正式な弟子になるためには、英語道弟子課程・弟子選考試験を受験することが必要である。弟子選考試験の受験準備には、通常、3ヶ月という期間を要するが、この3ヶ月は、仕事にたとえれば、「3ヶ月間の試用期間」という意味を成している。弟子選考試験は、所謂「試験」であるが、「試験を受けるまでの3ヶ月の間、どのように勉強し、どのように講師とコミュニケーションを図ってきたか」ということは、弟子の選考において極めて重要な要素・意味を成すものである。「弟子になれるかどうかは、講師が決めるのではなく、弟子選考試験を受験する本人が決めるものである」という指導内容には、そのような意味合いが包含されている。

生井利幸は、一事が万事において、「普遍的、且つ、公平無私な学問の精神」の下、どのような弟子選考試験受験者に対しても、『神の普遍的な精神』(the spirit of God)を基盤として、すべて公平無私、且つ、平等に選考している。それ故、弟子選考試験受験者が弟子になれるか否かということは、「そのすべては、受験者本人における勉強の姿勢にかかっている」と明言できる。

◆必須の基盤学習

→ 毎日数行ずつやり、はじけていく

<1> 生井利幸著「人生に哲学をひとつまみ」(はまの出版)

1) 「すべての学問の基礎は哲学である」、2) 「『世界レベルの英知・美意識』構築の基礎は哲学の学習経験に存する」、・・・生井利幸の弟子は、一事が万事に於いて、このことを念頭において勉強すること。言及するには及ばないが、生井利幸が世に出した哲学書・「人生に哲学をひとつまみ」のノート作成は、生井利幸の弟子においては最も重要となる根幹基盤学習である。

<2> 生井利幸公式サイト

→ 1日公式サイトから、隔なく、先生の精神を知るため

時々、何かのついでに生井利幸公式サイトを見ている弟子(弟子選考試験受験者)は、弟子として、生井利幸の哲学・精神を引き継ぐことは不可能である。英語稽古(レッスン)の前日、あるいは、当日に、講師に叱られないように公式サイトを閲覧する弟子は、言えなれば、「平均的受講生以下の心のステージの持ち主」であり、「偽りの弟子」である。講師は、弟子が講師の指導通りに勉強をしていない場合、実際にはその真実を見抜いている。見抜いてはいるが、通常の場合、本人の勉強の姿勢が改善されるまでの間、「地球規模の愛情」でそれを静観している。

<3> 英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイト

→ 項目ごとに細分化して、印刷→精読→ノート

英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイトは、様々なページで、必要に応じて、加筆・修正、再編集を繰り返している。生井利幸の弟子は、常に、英会話道場イングリッシュヒルズ全体の様相・有様について詳細に把握しておくことが必要である。師が運営している学校の全体像を把握することなく、与えられた教材だけを学習するだけでは、「木を見て森を見ず」という見識の狭い有様に陥ってしまう。

<4> レッスン日記

すべての受講生・弟子において、重要根幹教材「レッスン日記」のノート作成を行うことは、「最も堅実な学びの道」となる。

⇒ 重要教材「レッスン日記」の勉強が、「国際的教養の根幹」を樹立する

(計6ページ(PDF))

<5> 【特別講義】「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガルへの道」

「特別講義ページ」は、「レッスン日記」と同様に、英会話道場イングリッシュヒルズ全体の根幹重要教材である。通常コース受講生はもとより、英語道弟子課程弟子になっても、「特別講義ページ」の学習は、英語音声講義、及び、文書教材共に、それぞれ、交互にVol. 1から順番に学習をすることが必要不可欠である。

＜まずこちら＞

＜その後＞

<6> 英語道弟子課程・弟子専用ウェブサイト

→ 概説ページと基盤学習ページ

弟子たちは、まず第一に、必ず、①「英会話道場イングリッシュヒルズ・トップページ」にアクセスし、その後、②「英語道弟子課程・弟子専用ウェブサイト」に入ってください。生井利幸の弟子たちにとって、自分たちの学びの中心核である英語道弟子課程・弟子専用ウェブサイトへ毎日、頻繁にアクセスし、「世界レベルの英知・美意識」の中に自分を置き続けることは、まさに、必須の学習経験である。

<7> 生井利幸著「エレガント英語74」(とりい書房)

→ 1冊ずつまとめる。まずは全てを書き写す

生井利幸の英語を学習・習得するには、「エレガント英語74」の学習経験が必要不可欠である。但し、「エレガント英語74」の勉強のスタート時期については、弟子によってこれまでの学習の流れがあるので、スタート時期、勉強方法については、講師と相談の上で決めることとする。

→ 講義なし、文書のメモ提出したい

<8> 「世界レベルへの道」

→ 英語音声講義のある日は、100回聴いて、提出もしたい。

「世界レベルへの道」は、英語道弟子課程・弟子専用ウェブサイトに掲載。本教材は、英会話道場イングリッシュヒルズで学ぶすべての学習者にとっての重要根幹教材・「レッスン日記」と同様の重要性を持つ教材。弟子は、(1)「レッスン日記」と同時進行で、(2)「世界レベルへの道」の学習を進行。

「2019年・学習計画書」

①
2018年12月1日(土) 提出

2018年11月21~24日作成

・必須の基礎学習 <大項目>

<1> 生井利幸先生ご著書「人生に哲学をひとつまみ」(はろの出版)

- 7回目のノートがスタート
- 楽しんでノートを作る

<2> 生井利幸先生 公式サイト

- 「銀座書斎日記」を継続してノート作りと提出

<3> 英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイト

- 加筆・修正箇所を含め、全体像を頻繁に把握
- 各カテゴリの印刷・精読・ノート作りは継続する。

<4> レッスン日記

- 一週間に一つは必ずノートを作る。
- 楽しんで！ 丁寧に！

<5> [特別講義]「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガルへの道」

- 順番通りに勉強する。を継続する

<6> 英語道弟子課程・弟子専用ウェブサイト

① 概説ページ・ノート作り 上から順番に。丁寧に。

② 基礎学習ページ。毎日頻繁に行くが、ノートは、概説ページを終えてから。

小項目へ

但し、緊急で勉強すべきものはその時にだいて勉強。
そして、正式神聖解毒法概論・序論は、完全解毒が
終わるまで、毎週、文書と講義を勉強。完全解毒が
完了したあとも、毎週ではなくても勉強する。

→ <7>と<8>は次のページ

<7> 生井利率先生ご著書「エレガント英語74」(とりの書房)

- ノート作成を 継続

<8> 世界レベルへの道

- 一週間に一つは必ずノートを作る。
- 楽しんで！ 丁寧に！

<大項目 - 小項目 何を行うのか>

(2)

「2019年・学習計画書」

2018年12月1日(土) 提出

◆ 必須の基盤学習

<1> 生井利率先生ご著書「人生に哲学をひとつまみ」(はまの出版)

- 2018年11月現在、6回目のノートをまとめている最中。
第6章 日本人が哲学して見直すべきこと、P212を作成中。
最終ページ P237が終了後、一冊のファイルにまとめて、自宅保管。
その後は、最初のページに戻り、ノートを再作成する。

<2> 生井利率先生 公式サイト

- 旧公式サイト「銀座書斎日記」を、2018年より継続してノートにまとめ、提出をする。
2018年11月現在は、"2012年1月20日(金)「狭き門」から入る意味"を作成中。
ノートを作成する目的は、生井利率先生の精神性を知るため、そして、生井利率先生の精神性を、自宅にいたるときも、自分の中に吸収させるため、transubstantiation成立のため。よって、先に進んことよりも、一つに対して、しっかりと感じることに重きを置いて、継続・勉強する。
- 2018年の計画に揚げていた、同公式サイトの中の他のカテゴリのうち、最も古い日付のものを印刷・精読・ノート作り・提出まで行うこと... 殆ど進んでいないが、生井利率先生についていくには必要なので、諦めずに行う。
 - 今日の言葉 2003年～

<3> 英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイト

- ページ上の各カテゴリを印刷・精読・ノート作り、整った次第、提出を2018年に計画した。まだ進んでいないため、継続する。
隔々まで、全体像を 自分に入れることが目的。

<4> レッスン日記

- 2018年に継続していたやり直しを、このまま進めていく。
2018年11月現在、2018年12月11日 リーディング教材、調和の精神。
リンクが貼られているところも学習する。

<5> [特別講義] 「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガルへの道」

- 2018年に継続していたところを 進めていく。
2018年11月現在、文書教材 Vol. 14 The Subtle Taste and Elegant Simplicity
の講義を受講中。12月後半にすべての講義を終了後、以下の
ところから開始。
英語音声講義 Vol. 15 "Go in through the narrow gate"
文書教材 Vol. 15 古代ギリシアで生まれた「哲学の源流」

<6> 英語道弟子課程・弟子専用ウェブサイト

- 毎日頻繁にアクセスし、「世界レベルの英知・美意識」の中に自分を置き
続ける。という必須の学習経馬
- 私 → 生井利率先生の公式サイト → 英会話道場イングリッシュビルズ → 英語道
弟子課程・弟子専用ページ。という順序で辿り着きたいところまでいく。
- 概説ページ → 一番上より、ノートを作成中。継続する。
2018年11月現在、「世界レベルの教養」。

② 概説ページ用

フォルダを
つくり
ためていく
ページ

勉強の仕方は < 英語音声講義がある場合 > ③

1週目、ページ印刷と精読。

2週目以降、1つ1週間100回聴講
英語音声講義が終了後、翌週にページの
ノート作り。

① 全部教材

なので、
一つひとつ
丁寧にやる。
全部に
取り組む。

< 文書教材がある場合 > ③

1週目、ページ印刷と精読、文書教材印刷・精読
2週目、文書教材 ノート作り

- 。第3専用ページの基盤学習ページは、概説を終えないと始められない。
が、時に応じて、トップに掲載されたものを勉強する必要性はある。
正式神聖解毒法概論・序論は、

完全解毒が完るまでは、文書教材の精読、ノートづくり。

正式神聖英語音声講義は1〜7を11回番に100回ずつ聴く。を繰り返す。

。概説ページ — 毎日、毎週

。基盤学習ページ — 1. Topにきたものを時に六いて。

。正式神聖解毒概論・序論：毎日・毎週

<7> 生井利幸先生 著書「エレガント英語74」(とりい書房)

- 。2018年にノート作りからスタート。少しづつだが、継続する。

<8> 世界レガエルへの道

- 。一週間には一つは勉強する。

<自分への戒め>

時間が出来たらやるのではなく、すべきことをするために自分の時間を調整する。そのために寝る時間を削る・お昼休みを使用するのは当然！

「2019年・学習計画書」について <2> → この告知を踏まえて、

下準備を仕上げる ⇒ 清書

投稿日：2018年11月27日

英語道弟子課程で学ぶ弟子たちは、2019年を迎えるにあたり、2018年12月の第1回目の英語稽古にて「2019年・学習計画書」を提出してください（学習計画書は、心を込めて丁寧に、手書きで作成してください）。

→ ニに書かれているのは 弟子にとっての基礎学習内容

1 レッスン日記

毎週1つのトピックを学習。まず最初に、教材をプリントアウトして、紙の上で、<線を引く・メモを書く>等をしてしながら精読。その後、ノートにしっかりと整理。

2 【特別講義】「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガルへの道」

Volumeの順番通りに、(1)「英語音声講義」、及び、(2)「文書教材」について、毎週、交互に学習。「英語音声講義」は、1講義につき「最低100回」の聴き込み。これに加えて、ノートへのディクテーション、及び、重要ポイントの整理。毎週、レポートして提出が必要。

3 世界レベルへの道

「世界レベルへの道」は、レッスン日記に相当する重要根幹教材です。スタート時の古い日付から、順番通りに、毎週1つのトピックを学習。まず最初に、教材をプリントアウトして、紙の上で、<線を引く・メモを書く>等をしてしながら精読。その後、ノートにしっかりと整理。記述の中に、英語音声講義があった場合は、英語音声講義は、別の1週間を使って勉強してください。要領良く、一度と一緒に取り組もうとすると、時間的に無理が生じ、勉強が「雑」になり、「勉強の質」が低下します。

「世界レベルへの道」は、「レッスン日記」と同様に、専用のノート（ファイル）を用意してください。何年も勉強し続けると、勉強成果が蓄積され、自分独自の「世界レベルへの道」ノートを作り上げることができます。このノートは、生井利幸の弟子が「世界的教養人」になるための根幹の重要教材です。

毎週、レポートして提出が必要。→ 今日から最初に戻って印刷し直して、ノートを作り直すことにする。

4 「概説ページ」の学習

現在、「概説ページ」には、テーマ別に、21ページあります。学習方法は、1ページ分すべてを印刷。1ページには、いくつかの項目がありますので、1項目を1週間かけて、印刷上の紙を精読、及び、ノートにまとめてください。1項目に、相当ページに及びPDF教材がある場合は、PDFをプリントアウトし、紙上で精読、及び、ノートに整理。PDF教材も、1週間ですべてを学習する必要はありません。PDF教材も、1項目ずつ、時間をかけて丁寧に学習してください。

→ 進捗をため、一度に揃えるために一気に行うよりも、「自分に入れる」ため

英語音声講義がある場合は、1週間に1つのみで大丈夫です。1つの英語音声講義につき最低100回の聴き込みをし、加えて、ディクテーションと重要ポイントの整理。

「21ページの中の1ページ」を学習中、ページにある項目ごとの学習と英語音声講義を同時に行う必要はありません。順番にしたがって、1つの勉強に絞り、少しずつ学習してください。

概説ページの勉強は、生井利幸の弟子として、極めて重要な勉強です。時間がかかっても大丈夫ですから、少しずつ、丁寧に勉強を進めてください。

毎週、レポートして提出が必要。→ 今作っているところまではレポート提出用をつくる。途中のものは継続する

5 "Introduction to the Bible" (聖書入門)

毎月1回の"Introduction to the Bible"は、受講後、しっかりと復習して、レポートとして提出してください。

6 英語稽古の復習ノートの作成

ボイスレコーダーに録音した音声データをフル活用し、「師が賦与した教授内容」についてのディクテーション、及び、重要ポイントの整理を行ってください。

→ 重要

7 「生井利幸著『人生に哲学をひとつまみ』ノート」の作成

学問の基礎は哲学であり、且つ、組織的、且つ、系統的教養の基盤となる学習ですので、この学習は極めて重要な学習です。

8 指定・英会話テキストの学習、及び、音読の練習

9 その他、師との間で決定済みの学習の確認

→ 正式神聖医学文書と正式神聖英語音声講義

「生井利幸公式サイト」に掲載されている教材の学習、音楽鑑賞のプロジェクト、その他、師との間で約束した学習課題等についての確認。あるいは、師が作成・掲載した教材の中で、「勉強したい教材」がある弟子は、自分から提案してください。

10 2019年の学習に対する抱負、及び、決意（日本語で執筆）

補足：

2018年11月27日（火）現在、すべての弟子たちが、「基盤学習ページ」に入ることを許可されています。当分の間は、2018年に刷新された「概説ページ」の学習を中心にしていくことになりましたが、「基盤学習ページ」も、毎日、掲載内容を確認してください。基盤学習ページは、「生き物」のように「生きた教材」です。師は、基盤学習ページに於いても、新教材・刷新教材等、頻繁に、掲載しています。